

コショウラン

現 状	
<p>1. 生産規模</p> <p style="text-align: center;">生産額・面積の推移</p> <p style="text-align: center;">農業及び水産業生産額実績</p> <p>・平成26年の作付面積は557a、生産額は7.7億円で、本県花きの品目別の生産額第1位となっている。</p>	<p>2. 生産者の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年の原油高騰を機に、燃料費の低減に向けたヒートポンプの導入や保温性を高める多層化設備を設置している。 ・海外で開花直前まで育苗した成熟苗を導入し、育苗期間短縮による施設回転率向上や育苗室の開花室転用による出荷量の増加を図る生産者が増加している。 ・総合農業技術センターで育成したミニコショウランは、富士東部地域の生産者を中心に栽培されている。 <p>3. 県の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から燃油価格高騰緊急対策事業を導入し、省エネ対策について支援を行った。 ・総合農業技術センターで育成したミニコショウランの栽培技術の確立に取り組んでいる。

課 題	対 策
<p>1【生産】</p> <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外で育苗した成熟株の導入による短期間栽培や出荷株数の増加を図る生産体系技術の確立が求められている。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が育成したミニコショウランの計画出荷に向けた生産体制づくりや技術確立の支援が必要である。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産費に占める割合の高い光熱費について、使用量低減に向けた省エネ技術の導入をさらに進める必要がある。 <p>2【販売】</p> <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有利販売に向けて、産地情報、品種特性や管理方法などの商品情報を消費者や小売店に提供する必要がある。 <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高単価な贈答需要が低迷する中で、新たな需要が見込めるニーズの把握が必要である。 	<p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期間の栽培に合わせた栽培管理技術の向上に向けた取り組みを支援する。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県育成品種の計画出荷を図るため、技術検討会や出荷目合わせなどの生産者組織の活動を支援する。 ・販売強化を図るため、計画出荷に向けた技術支援を行うとともに、マーケティングや販売促進などの取り組みを支援する。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト、省力化を図るため、変温管理による省エネルギー栽培の成果を普及していく。 <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場や小売店等に効果的に売り込むため、産地や商品の情報を伝える販売促進資材の活用やホームページ等での情報発信を支援する。 <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化した消費者や小売店のニーズを調査し、新品種の導入や商品づくりを支援する。

対策に向けたスケジュール	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
<p>1 -</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>2 -</p> <p>-</p>	<p>栽培技術支援</p> <p>生産体制整備・計画生産技術確立</p> <p>省エネ技術普及</p> <p>販売促進資材等作成支援</p> <p>ニーズ調査、商品づくり支援</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>